



☆第24回 
 ☆発行 医療法人 愛の会
 下関市長府才川2丁目21-2
 TEL.083-248-0254
 FAX.083-248-0441
<http://www.tip.ne.jp/koufuen/>

毎年恒例 お花見開催

平成22年4月3日、医療法人愛の会恒例のお花見が行われました。今年も天候に恵まれ、桜もこの日を待っていたかのように咲き誇り、患者さんもお家族も満開の桜の木の下で、楽しいひと時を過ごされていました。

院内には、約50種類、900本の桜の木があり、それぞれ違った色合いで私達の目を楽しませてくれます。染井吉野以外の桜の木には名札がつけられていますので、名前を見ながら散策してみるのはいかがでしょうか。



お花見弁当

募集中

医師・薬剤師・看護師・
 介護職・作業療法士
 (お問い合わせ先)
 総務部長 高田和土
 TEL 083-248-0254

**医療法人愛の会で、
 一緒に働いてみませんか?**

- **介護老人保健施設 さくら寮**
 サービス内容
 入所療養介護、短期入所療養介護、
 通所リハビリテーション
 (お問い合わせ先) TEL 083-248-5211
- **光風園訪問看護ステーション**
 サービス内容
 病状の観察、清潔援助、食事指導・管理、
 排泄の介助・管理、カテーテル等の管理と
 床ずれの予防・処置等、ご家族への介護支
 援・相談
 (お問い合わせ先) TEL 083-248-5588
- **光風園病院 訪問リハビリテーション**
 サービス内容
 ご自宅に訪問し、必要なりハビリテーション
 を行います。
 (お問い合わせ先) TEL 083-248-0254

医療法人愛の会
光風園病院
 ● 診療科目
 内科、呼吸器科、循環器科、皮膚科、
 リハビリテーション科
 ● 病床
 回復期リハビリテーション病棟：50床
 特殊疾患病棟：60床
 医療療養病棟：60床
 介護療養病棟：40床
 (お問い合わせ先) TEL 083-248-0254

さくら寮だより

さくら寮は入所者おひとりおひとりに適したリハビリテーションやケアを実施しております。実際にどのような流れで、どのように行われていくのかご紹介いたします。



入所のご相談に来られた時に、支援相談員がお話をお伺いし、ご本人の状態を把握いたします。



入所された日に、医師・看護長・看護師・リハビリスタッフ・相談員が、ご希望や目標などをお聞きしながら、事前の情報や当日の状況などと照らし合わせて、今後の方針を決定します。



入所日から10日以内に、担当者が作成したケアプランを基に、多職種のスタッフで内容を協議し、具体的で個別的なリハビリやケアプランを確定していきます。



状況に変化が生じた場合には、その都度話し合いを持ち、検討・評価を繰り返します。



ご自宅へ退所される^{めど}目処がついた時には、事前にご自宅を訪問し、ご本人の状態に合わせた住宅環境のアドバイスをいたします。

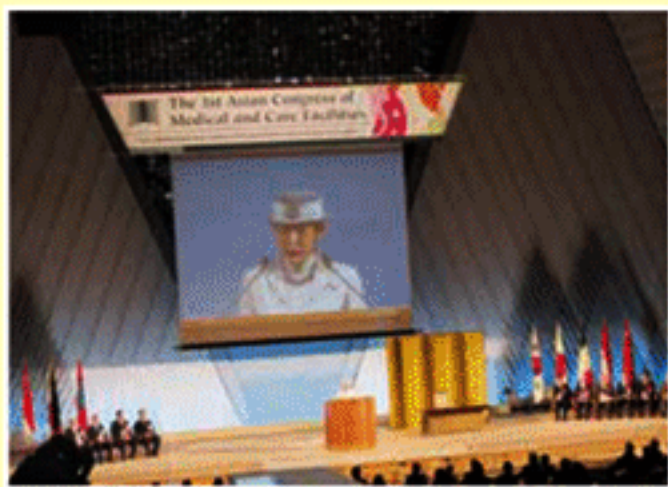


このようにして入所から退所まで、専門性のある多職種がそれぞれの視点で検討し、何度も話し合いを持ち、皆様により良い療養生活を送っていただけるよう、チームで連携して支援していきます。

入所や短期入所をご希望の方はお気軽にご相談下さい。

第1回 アジア慢性期医療学会

平成22年3月13・14日、京都国際会議場にて、第1回アジア慢性期医療学会が開催されました。テーマを「先進的慢性期医療・慢性期医療の現状と未来」とした本学会は、慢性期医療を題材とした国際学会としては初の開催であり、日本・韓国・台湾・中国・タイ・シンガポールなどのアジア諸国の専門職が一堂に会し、高齢化社会について



の現状報告や課題提示などが熱心に行われました。

一般口演・ポスター発表220題を集めた演題発表では、当院も2演題を発表しました。当院で行っている認知症ケアのための環境づくりについての発表は、長年アルツハイマー病について研究を続けておられる北京大学教授の崔先生より高い評価を頂き、当院への視察も熱望されました。

新入職員歓迎会



今年は、22名の新入職員があり、4月10日(土)に地域交流ホールで歓迎会を行いました。
会場では、新入職員と先輩職員とが立食パーティー形式で歓談をしました。
新人は頭を下げてテーブルを回る姿が多く見られ、緊張している様子がひしひと伝わってきました。
たくさん話をし、次の日からは職場の雰囲気居心地よく感じられたかも!?

医療安全推進研修

当院では4年前より全職員対象に、医療安全推進のための研修を行っています。この研修は、「行動モニターを働かせて」といった題目で、日常よく目にする光景を写真またはビデオ撮影し、その映像を基に危険因子を探すグループワークを行うといった内容です。この研修は、日本慢性期医療学会でも発表し、非常に高い評価を得ています。

前年度の研修は、院内感染に焦点を当て3月に5日間の日にちを設けて研修を行いました。研修終了後のアンケートでは、参加者全員が、今回の研修内容を理解



解できたと答えています。中には、今後もこのような研修を開催してほしいなど前向きな意見も聞かれました。今後もこの研修を続け、医療安全を推進していきたいと考えています。



第24回 — 咳の話 —

光風園病院 副院長 藤田 博司



猛威を振るったインフルエンザも峠を越え、暖かい桜の季節となりました。皆さん、お体の調子はいかがですか。え、風邪は治ったのにまだ咳が続いている?そうですか、それでは今回は咳の話をしてしまおう。

私たちが咳をするのは、その詳しいメカニズムはまだ完全には解っていないものの、喉についた異物や病原菌を取り除く、あるいは気管から肺へ進入しようとするのを防ぐ大切な体の防衛機能なのです。脳卒中などの病気や、年齢のためこの機能が低下すると、肺に異物や細菌が入り、いわゆる誤嚥性肺炎を起こします。この病気は高齢者の死因の上位を占めています。

さて、最近になって、長期間の咳を訴える患者さんが増えています。3週間以上続く咳を「遷延性咳嗽」、8週間以上続く場合は「慢性咳嗽」と呼びます。気管支炎や肺炎の咳は、ほぼ3週間以内に沈静化し、急性咳嗽といわれますが、遷延性、あるいは慢性の咳にはいろいろな原因があります。

咳には痰を伴う湿性の咳と、そうでない乾性の咳(いわゆる空咳)があります。日本人で長く続く乾性の咳は、アトピー性咳嗽や、咳を唯一の症状とする咳喘息の人に多く見られます。また、喉のイライラ感を訴える喉頭アレルギーの場合

もあります。専門医で血液や喀痰中の好酸球という白血球を調べたり、IgEというアレルギーにかかわる抗体を調べてみると診断できます。

長く続く湿性の咳では、副鼻腔気管支症候群という病気が多いようです。副鼻腔炎(蓄膿)のため、鼻の後ろから喉に分泌物が落ちてきて、これを出すための咳が続く状態です。気管支拡張症と言う病気を合併し、色のついた痰が多いことがあります。抗生物質を比較的長期に使うことで改善します。

夜間に多い咳としては、胃食道逆流症候群があります。寝ている間に胃液が食道に逆流する刺激で咳が起こりますが、時に胸焼けなどの症状がなく、夜間の咳だけが唯一の症状のことがあります。またお年寄りでは、寝ている間に唾液など口の中のものが気管に流れ込んで咳をしていることがあります。この場合、安易に咳止めを使用したり、眠れないからと言って睡眠薬を服用すると、せっかくの防衛反応を邪魔して、肺炎を引き起こすこともあります。

また数年来、大学生などを中心に百日咳が流行していますし、以前から言われているように、肺がんや肺結核も長期にわたる咳の原因です。咳が3週間を超えて続くようであれば、呼吸器の専門医に相談して見てください。

編集後記

新年度・新学期…と4月は新たなチャレンジに胸を膨らませることが多いですね。

私事ですが、先日結婚しまして、新婚ということになりますが、初心を忘れないことを今は心がけていこうと思っています。新入職員の方にもこの言葉を捧げます。

21年度 資格取得者

【看護師合格者】

前川 依里 (西2病棟)
花谷 達也 (回復期病棟)
有光 幸輝 (東2病棟)

【准看護師合格者】

山下 由佳理 (西1病棟)
中野 真希 (西2病棟)
熊谷 仁美 (回復期病棟)
渡川 瑠美 (東2病棟)

【介護福祉士合格者】

梶山 美和 (西1病棟)
森 二三恵 (西1病棟)
久保 尚美 (さくら寮)
古川 裕美 (さくら寮)
中野 由紀 (さくら寮)
塩塚 佐織 (さくら寮)

永年勤続者

【20年勤続】

正野 美由紀 (東2病棟)
古川 利枝 (栄養科)

【15年勤続】

梶間 里美 (西1病棟)
松永 美和 (西1病棟)
有光 幸輝 (西2病棟)
中村 祐美子 (東2病棟)
山西 雅彦 (総務)
内田 陽子 (総務)

